

【AI 進化が引き金となる産業構造転換】

ロボットの再定義からみるヒューマノイド市場の可能性

～異業種参入を含む新たな競争環境と勝ち筋の考察～

— 講 師 —

EY ストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社

Advanced Manufacturing & Mobility シニアマネージャー 祝出 洋輔 氏

日 時 2026 年 3 月 25 日 (水) 午前 10 時～12 時

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信 (2 週間、何度でもご視聴可)

会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

〔重点講義内容〕

昨今の AI の発展に伴い自律制御のヒト型ロボット＝ヒューマノイドがよいよ実現しつつあります。しかし、技術的な進化は目覚ましいものの、市場性や事業へのインパクトについてはまだ未知数と言えます。産業・サービスそれぞれの領域でヒューマノイドがどれほどのビジネス機会を生み出すのか。どのような時間軸で社会実装されていき、関連企業のビジネスにいつどの程度のインパクトをもたらすのか。そして、既存のロボット関連企業以外の新規参入の可能性はどの程度あるのかについて語られることは多くはありません。

本講演では、これらの問いに対する指針を提供するために、そもそもの自動化やロボットは何かという再定義に立ち返り、それに基づいた社会実装の未来像を明らかにします。そして、そこに現れる新たな市場とビジネスチャンスを明らかにします。

1. 自動化・ロボットの再定義とヒューマノイドの適用領域
2. ヒューマノイドの社会実装: 2050 年の未来予想図
3. ヒューマノイドの社会実装に向けた技術進化見通し・時間軸
4. 製造業におけるヒューマノイド実装事例のご紹介
5. ヒューマノイドの社会実装に向けた課題(技術的課題＋社会的課題)とビジネスチャンス
6. 質疑応答／名刺交換

P R O F I L E 祝出 洋輔(いわいで ようすけ)氏

20 年にわたる産業・企業・資本市場に関する調査分析業務の経験を有す。大学院修了後、日系金融機関の調査部門にて株式・ファンドのアナリストとして活動したのち、複数の大手コンサルティングファームにて機械・資本財・電気領域の調査業務に従事。特に FA・ロボティクス、製造デジタルプラットフォーム等の製造業のデジタル化・自動化領域や AI・半導体関連の調査を多数手がける。25 年 12 月より現職。

